

# 平成20年度 学校自己評価システムシート ( 県立上尾橋高等学校 )

目指す学校像	地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。
--------	-------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的生活習慣を確立し、規律意識を高める。</li> <li>2 基礎学力の向上を図り、生徒の資質・能力を高める。</li> <li>3 進路指導の充実により、生徒の自己実現を図る。</li> <li>4 地域に根ざし、信頼される開かれた学校づくりを進める。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	12名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2月1日 現在 )			実施日	平成21年2月16日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正門での登校指導や特別指導週間を設けるなど、頭髪服装を整える指導を通して規律意識の向上を働きかけているが、一部に規律を守れない生徒がいる。</li> <li>・遅刻は全体としては減少傾向にあるが、基本的生活習慣が身に付いていないために遅刻を繰り返す生徒がいる。</li> <li>・挨拶や清掃活動に積極的に関われない生徒がいる。</li> <li>・部活動をより活発に行うには、部活加入率を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規律意識の向上</li> <li>○遅刻欠席等の防止</li> <li>○あいさつの励行</li> <li>○清掃活動の徹底</li> <li>○部活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導部通信の発行、生活委員会の活用(月間目標の制定など)により、規律意識の啓発を図る。</li> <li>・フレッシュ高校生社会体験活動プログラムを活用し、規律意識の向上を図る。</li> <li>・遅刻記録カードを遅刻常習者の早期把握や家庭への連絡資料として活用する。</li> <li>・日常的に身だしなみ指導を行い、身だしなみの改善を図る。</li> <li>・教員からも積極的に生徒への挨拶を励行する。</li> <li>・環境整備委員会の定期的な校内巡回と、点検結果の活用法を工夫する。</li> <li>・顧問が部員とのコミュニケーションを密にし、部員の把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻欠席等の延べ人数(率)が前年度より減少する。(年間出欠統計)</li> <li>・頭髪服装規程を守る生徒が前年度より増加する。(評価アンケート)</li> <li>・挨拶ができる生徒が前年度より増加する。(評価アンケート)</li> <li>・清掃点検表の○の数が前年度より増加する。(清掃点検表)</li> <li>・部活動に積極的に参加する生徒が前年度より増加する。(部活動部員数調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻欠席率は数値的には前年度と同様の結果となったが、各行事の参加率は前年度に比べて改善が観られた。</li> <li>・今年度より生徒指導部通信の発行やフレッシュ高校生社会体験活動等により、規律意識の啓発が図られた。</li> <li>・頭髪服装規定を守る生徒や挨拶ができる生徒が増加した。</li> <li>・清掃を良くやる生徒が増え、清掃点検表の○の数が増えた。</li> <li>・部員数は増加していないが、文化祭での発表作品の質が向上するなど、各部活動の実績も上がり、活性化の兆しが見られた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装頭髪指導に対して、保護者との連絡をより一層密にして、さらに保護者の理解を得ながら指導していく必要がある。</li> <li>・生徒指導部通信をより活用するために保護者への浸透方法を考える。</li> <li>・花植え、校外美化活動を年度計画で位置づけ、より一層環境づくりを意識して活動する。</li> <li>・清掃点検表については、フィードバックの方法を工夫改善する。</li> <li>・部活動の内容の充実を図り、生徒が興味関心を持てる部活動を展開し、部員数の増加に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規律ある学校として地元の評価、中学生の評価を高めるためにより厳しい指導をしてほしい。</li> <li>・先生は家庭でやるべきことを面倒みている。遅刻が常態化している生徒は家庭の指導の問題もある。</li> <li>・生徒会のしっかりした意見を聞いて安心した。生徒会役員はみんなを引っ張っていく責任があるが、友達をひとりでも多く生徒会の活動に引っ張ってほしい。</li> <li>・いい学校になったなと感じた。これからもすばらしい学校になってほしい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイム着席はおおむねできているが、さらに徹底を図っている。</li> <li>・一部生徒に、授業中の私語や携帯電話の使用が見られるため、特別指導週間を設けるなど授業態度の育成を図っている。</li> <li>・基礎学力が不足する生徒がおり、さらに基礎学力を伸ばす工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善の取組</li> <li>○学習態度の確立</li> <li>○基礎学力の定着</li> <li>○学習能力の向上</li> <li>○評価方法・基準の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な注意喚起や、授業態度改善週間等により、授業に集中する態度の育成を図る。</li> <li>・教員が早めに授業に行きチャイム着席指導を行う。</li> <li>・職員研修会を実施し、評価方法の共通理解や、生徒を伸ばす評価方法の改善を図る。</li> <li>・教科会、研究授業を通して教材研究や指導方法等の工夫改善を図る。</li> <li>・少人数授業等、生徒の基礎学力の向上を図る教育課程の工夫改善を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組む生徒が前年度より増加する。(評価アンケート)</li> <li>・生徒全員がチャイム着席できる。(評価アンケート)</li> <li>・成績優良者が前年度より増加する。(成績会議資料)</li> <li>・年度末の欠点保有者が前年度より減少する。(成績会議資料)</li> <li>・授業に満足する生徒の割合が増加する。(評価アンケート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して組織的指導体制を組んでチャイム着席指導を行った結果、廊下で騒いでいる生徒が減少した。</li> <li>・意欲的に学習に取り組む生徒が微少なながらも増加した。その結果、成績優良者の数が増えた。その一方、欠点の保有者は横ばいで学習の二極化が進んでいる。</li> <li>・「学校生活は充実している」と評価アンケートに回答した生徒が増加した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイム着席の組織的指導体制を継続し、授業に取組む姿勢のさらなる向上を図る。</li> <li>・基礎学力の向上を図る具体的方策の立案と実践を進めるため、計画プロセス(計画主体や時期目標)を明確にして取り組む。</li> <li>・評価方法・基準に関わる内規の見直しなど、生徒の実態に応じた評価のあり方を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋高校の少人数指導や習熟度別指導による授業は、面倒見がいいと感じている。これらの授業は今後も続けてほしい。</li> <li>・2学年の小説家になりたいという生徒の作品を読んでみて、奇抜な発想力があると感じた。書道にもいい作品がある。個人の能力を発掘するのも先生の役割、これらの作品を発表できる場を設けてほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の進路指導に沿って活動した生徒は、就職が100%決定している。</li> <li>・個別指導の時間確保や様々な情報の共有が進みつつある。</li> <li>・家庭の事情等で希望の進路に進めない生徒がいる。</li> <li>・資格取得に対する意欲(自信)が不足する生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路決定率の維持</li> <li>○進路相談・個別指導の充実</li> <li>○資格取得の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路資料の整理と活用法を工夫し、生徒の状況把握と適切な進路情報の提供に努める。</li> <li>・進路講演会、分野別説明会等進路行事を計画的に実施し、生徒の進路意識の高揚を図る。</li> <li>・就職支援アドバイザーを活用し、面接指導等をより充実させる。</li> <li>・3年間を見通した継続的な補習や個別指導を通し、生徒の進路希望の実現を図る。</li> <li>・資格取得のための補習や指導の充実を図る。</li> <li>・インターンシップを活用し、勤労観や職業観の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望が実現する(就職希望者の就職内定率100%を維持する)。(生徒進路結果)</li> <li>・進路に関する講演会・研修会等の回数と内容の充実。(評価アンケート)</li> <li>・職場見学等、啓発的経験をさせる機会の回数と内容の充実。(評価アンケート)</li> <li>・資格取得者が前年度より増加する。(各種検定試験結果)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度後半の不況の影響で就職環境は厳しさを増したが、早くから意識を持ち、進路指導に従った生徒はほとんど合格した。</li> <li>・面接指導、個別指導の機会を増やし、きめ細やかな指導を行った。</li> <li>・進学希望者については順調に進路を実現した。</li> <li>・生徒の学校評価アンケートにおいて、進路関係の項目はほとんどの項目で前年度より改善、向上している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部と学年教員の協力、連帯体制を確立し早期より生徒の進路意識の高揚を図る。</li> <li>・就職に関わる情報の収集と整理・開示の方法を検討する。</li> <li>・保護者への進路を巡る状況の理解を図るため、説明会や通信文書を活用する。</li> <li>・フレッシュ高校生社会体験活動やインターンシップを活用し、さらなる勤労観や職業観の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がどの方向があっているのかを先生方も把握できると、その生徒のやる気が引き出せ、その生徒を生かせると思う。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAと学校行事や校外生徒指導の連携が図られている。</li> <li>・校外交流体験授業や公民館の公開講座との連携を通して、地域との交流が図られている。</li> <li>・授業公開への保護者の参加が少ない。</li> <li>・ホームページなどを通して、本校の教育活動の様子が積極的に発信されている。</li> <li>・体育館の定期利用など施設開放が積極的に進められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開かれた学校づくりの推進</li> <li>○家庭・地域との連携</li> <li>○評価懇話会の活用</li> <li>○授業公開の工夫</li> <li>○学校施設の開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾養護学校との交流会や校外交流体験を通じて地域との交流を深める。</li> <li>・PTAに働きかけ、授業公開や文化祭・体育祭等の学校行事への保護者の見学者を増やす。</li> <li>・学校通信、HP、学年通信等を活用し、保護者や地域に積極的に働きかける。</li> <li>・保護者が出席しやすい授業公開の実施方法(日時や回数、内容等)を検討する。</li> <li>・学校だよりを近隣地域や中学校に配布、回覧するなど広報活動を工夫する。</li> <li>・ホームページのタイムリーな更新と充実を図る。</li> <li>・引き続き学校施設開放を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開への参加者数が前年度より増加する。(授業公開参加者)</li> <li>・学校説明会への参加者数が前年度より増加する。(学校説明会参加者)</li> <li>・保護者や地域に学校を開く機会を積極的に設ける。(公開講座等の回数)</li> <li>・学校からの情報発信を積極的に行う。(ホームページ更新)(評価アンケート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭、体育祭等、学校行事への保護者の参加数が増加したが、授業公開への参加数は横ばいである。</li> <li>・学校説明会への参加者が増加した。</li> <li>・地域との連帯、社会規範の確立を目指し、学校近隣地域の清掃、美化活動を全学年で実施した。</li> <li>・公開講座や学校の施設開放に積極的に取り組んだ。</li> <li>・橋高通信の地域への回覧を始めた。</li> <li>・ホームページのタイムリーな更新に努め、鮮度の高い情報提供を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学校近隣地域の校外美化活動を実施し、地域から信頼される学校を目指す。</li> <li>・授業公開参加者の少ない要因を分析し、保護者が出席しやすい授業公開の実施方法を検討する。</li> <li>・学校からの連絡が伝わり難い保護者が増加しており、そのような保護者への確実な連絡方法を工夫する必要がある。</li> <li>・引き続き橋高通信およびホームページの充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平方の色々な行事に参加すれば、もっと橋高校への地元の関心が高まると思う。</li> <li>・パソコン教室(公開講座)を今後も行ってほしい。</li> <li>・学校周辺の清掃活動を地元の人と一緒にしているのたいへん良いことだと思う。</li> </ul>